

令和7年度は、現在厚生労働省が推奨しているICTを利用した「生産性向上推進体制加算」を算定できる環境作りに力を入れてきました。

介護現場における生産性の向上は、職員の負担を軽減して人手不足の解消だけを求めるものではなく、ICTを利用した課題の分析や、状況に応じた対応に取り組むことにより介護サービスの質を確保する、非常に重要な項目となっております。

近い将来スタンダードとなるであろうICTを使った介護の環境を整えることにより、より安全で安心できる介護施設を目標にして環境整備を行ってまいりました。

また、設備のリニューアルも引き続き継続して、今の時代に合う施設を目指して運営を心掛けています。

特定技能の外国人雇用に関しては2名を追加採用し、合計4名となりました。先行して採用した2名は夜勤業務を行えるようになり、施設にとって大きな戦力となるまでに成長しています。特定技能の採用はこの4名までとし、今後は新卒の採用に力を入れてまいります。

令和8年3月31日

社会福祉法人 静岡和洋福祉会
理事長 小泉 雅 則

1. 事業

特別養護老人ホームなごみ（介護老人福祉施設） 定員 50名

ショートステイなごみ（短期入所生活介護） 定員 20名
（介護予防短期入所生活介護）

デイサービスセンターなごみ（併設型通所介護） 定員 35名
（総合事業通所型）

福祉サービスセンターなごみ（居宅介護支援）

グループホーム浜屋（認知症対応型共同生活介護） 定員 9名

2. 会議

第1回理事会

- 議 第1号 令和6年度決算(案)について
第2号 令和6年度事業報告(案)について
第3号 監事監査報告について
第4号 社会福祉充実残額及び充実計画について
第5号 新役員の選任について
第6号 新評議員の選任について
第7号 理事長の職務執行状況について
第8号 次回評議員会の開催について

第1回評議員会

- 議 第1号 令和6年度決算(案)について
第2号 令和6年度事業報告(案)について
第3号 監事監査報告について
第4号 社会福祉施設充実残額及び充実計画について

- 第5号 新役員の選任について
- 第6号 新評議員の選任について
- 第7号 理事長の職務執行状況について

第2回理事会

- 議 第1号 令和7年度補正予算(案)について
- 第2号 令和8年度事業計画(案)について
- 第3号 令和8年度予算(案)について
- 第4号 訪問介護事業の廃止について
- 第5号 訪問介護事業の廃止に伴う、定款変更について
- 第6号 育児・介護休業規程の改定(案)について
- 第7号 給与規定の改定(案)について
- 第8号 理事長の職務執行状況について
- 第9号 次回評議員会の日程について

第2回評議員会

- 議 第1号 令和7年度補正予算(案)について
- 第2号 令和8年度事業計画(案)について
- 第3号 令和8年度予算(案)について
- 第4号 訪問介護事業の廃止について
- 第5号 訪問介護事業の廃止に伴う、定款変更について
- 第6号 育児・介護休業規程の改定(案)について
- 第7号 給与規定の改定(案)について
- 第8号 理事長の職務執行状況について

3. 特別養護老人ホーム入所者の処遇

「当たり前の生活」に重点をおき、安心且つ快適な生活が送れるように環境に配慮したケアの提供に努めました。入所者一人ひとりの立場に立って関わりを持ち、ケアの実施、チームでのケアに重点を置き提供に努めました。施設内研修・新入社員研修・職員の育成のための継続的な指導にも努めました。

・月別入退所状況

月別	入所者数	退所者数	入 所 前 状 況			退 所 理 由			
			他施設	病 院	自 宅	他施設	病 院	死 亡	自 宅
4	1	1	0	1	0	0	1	0	0
5	2	0	1	0	1	0	0	0	0
6	1	1	0	0	1	0	0	1	0
7	1	0	0	0	1	0	0	0	0
8	1	2	0	1	0	0	0	2	0
9	1	1	1	0	0	0	0	1	0
10	2	1	2	0	0	0	0	1	0
11	2	3	0	1	1	0	0	3	0
12	1	1	0	1	0	0	0	1	0

1	2	2	0	0	2	0	0	2	0
2	3	2	0	0	3	0	0	2	0
3	2	1	0	0	2	0	0	1	0
計	19	15	4	4	11	0	1	14	0

(1) 行 事

実施された主な行事

プチ祭り、敬老お祝い、健康診断、季節の造形・催しもの作り、誕生日会、防災訓練、おやつ喫茶、クリスマス会、豆まき、松花堂弁当、忘年会、年越しそば、ちらし寿司作り、御神酒、寄せ鍋作り、新春ビンゴ大会、テイクアウトレク、出前レク、お花見、母の日、フラワーアレンジメント、青空ランチイタリアン、映画鑑賞会（なごみ内シアター）

(2) 食 事

当たり前の生活を提供するという理念の下、食事は陶器の食器を使用し、ご飯や汁物をユニットで盛り付けることで、温かいものを召し上がって頂いています。食事形態も咀嚼、嚥下レベルが低下する方においても美味しく安全に食べて頂けるように粥ゼリーの提供についても力を入れました。

(3) 入 浴

快適に入浴を楽しんでいただけるよう、安全の確保を第一に考えながら、個々の意向を反映するように努め、援助しました。

(4) 排 泄

不快感を最小限にすることを目標に、スキンケア質の向上を目指した実践、プライバシーへの配慮、自立支援を考えたケアの提供を行いました。

(5) 移 動

本人の保有する移動能力を最大限に生かし、安全かつ快適に移動ができるよう、状態に合わせた福祉用具の選定、職員間での介助方法の統一、移動環境の整備を行い、自立支援を促しています。

(6) 健康 管理

バイタル測定や入浴介助等日々の生活の場を通して体調不良の早期発見に努め、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染対策を心掛けました。

スクリーニングとして腹部・心臓の超音波検査を取り入れ胸水貯溜、腹大動脈瘤を早期に発見でき治療に繋げるようにしています。

(7) 実 習

介護福祉士養成学校からの実習を多く受け入れ、専門職としての学びの場であることを十分理解したうえで指導にあたってきました。また、看護学生の老年学実習を受け入れることで互いに今後の医療と福祉の協働について考えながら、高齢者の生活特性を学んでももらいました。

実 習 委 託 先 ・ 実 習 名	人 数 （ 延 べ ）
静岡女子高校（福祉科）	45
静岡女子高校（家政科）	0
静岡県立大学短期大学部（介護福祉・社会福祉専攻）	58
静岡福祉大学（健康福祉学科介護福祉コース）	45
静岡福祉医療専門学校（介護福祉学科・総合福祉学科）	105
常葉大学（健康科学部看護学科）	44
職場体験（高校生）	6
職場体験（中学生）	6

介護労働安定センター	9
------------	---

(8) ボランティア・体験学習

入所者・利用者と学生の交流を通じ、地域社会との関係作りに努めました。

学生ボランティア

団 体 名	団 体 名
静岡福祉医療専門学校	静岡福祉大学

一般ボランティア

団 体 名・氏 名	団 体 名・氏 名
渥美 様	メロマーネ

(9) 防 災

年2回5月と11月に総合防災訓練を実施しました。部分訓練では訓練用の人形を用いて、胸骨圧迫訓練やAEDの研修、災害時を想定して発電機の使用法の研修を行い、職員の防災意識の向上に努めました。

また、安全に避難が出来るように避難方法・避難経路の再検討を行い、改善点を防災訓練に組み込むことで、災害時により安全に素早く対応できるように努めました。

災害時の非常食、備品については定期的に点検し、異常があれば交換、または新しいものを購入するようにして災害に備えています。また、マニュアルの点検、物品整備、新たな課題に取りかかり、展開・維持向上に努めました。アマチュア無線による非常通信の導入、万事のSOS発信の強化にも取りかかりました。

4. 指定居宅サービス

(1) 通所介護サービス（デイサービスセンター）

利用者に関わる時間をもち、一人ひとりとの信頼関係の構築を図るよう努め、その中で一人ひとりのニーズを汲み取り、サービス提供できるよう努めました。安全管理の徹底をし、近隣店舗におやつを買いに外出レクを実施したり、苑内で夏祭りを企画し皆さんに楽しんでいただきました。

歩行訓練所を活用し利用者が在宅での生活が少しでも長く続けられるように、機能訓練を行い、身体状況の維持、向上に努めました。

利用者の状態に合わせた移乗や介護技術の研修を行い、介護職員がより良いサービスを提供できるよう努めました。

(通常型)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
利 用 登録者数	49	53	53	51	49	50	50	50	50	53	52	51	611
延 べ 人 数	453	497	454	471	466	448	458	422	440	445	444	470	5,468
1日平均 人 数	17.4	18.4	18.2	17.4	17.9	17.9	17.0	16.9	18.3	18.5	18.5	18.1	17.9

(介護予防通常型)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
利 用 登録者数	6	6	5	5	5	5	6	7	7	8	9	10	79
延 べ 人 数	33	34	31	29	27	29	32	34	42	48	50	58	447

1日平均 人 数	1.3	1.3	1.2	1.1	1.0	1.2	1.2	1.4	1.8	2.0	2.1	2.2	1.5
-------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(2) 短期入所生活介護サービス（ショートステイ）

居宅介護支援事業所の介護支援専門員と細かくご利用者の状況変化に対する連絡を行い、情報共有に努めました。

また、ご本人様・ご家族様のニーズに適切に応えることができるよう、他部署や他事業所、必要時にはその他の関係機関との迅速且つ的確な情報共有に努めました。

感染症対策を講じた上で講習を適宜実施し、ご利用者の状態や状況に合わせた移乗や介護技術について各職員が意識向上の志を持てるよう努めました。また、ご利用者に対してより安全、安心なサービス提供が出来るよう努めました。

・実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
延人数	624	667	648	647	680	639	657	658	652	681	589	629	7,771
延人数 (予 防)	9	9	9	9	9	10	11	9	12	14	9	9	119
1 日 平 均 人 数	21.1	21.8	21.9	21.2	22.2	21.6	21.5	22.2	21.4	22.4	21.4	20.6	21.6

(3) 指定居宅介護支援事業（福祉サービスセンター）

利用者と家族のニーズに対して迅速に対応するとともに利用者の意思を尊重し、自立への働きかけを行い、入院時は病院を訪問し医療機関との連携を図りました。

研修会にも積極的に参加し、多種多様な利用者のニーズに対応できるよう専門知識や技術の向上に努めました。また、地域包括支援センターと連携を図り、協働して問題解決にあたりました。

・給付管理件数 （ ）内は新規プラン件数

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
介 護 給 付 件 数	(1) 37	(2) 38	(2) 40	(1) 39	(1) 40	(0) 40	(2) 39	(1) 39	(1) 39	(2) 40	(1) 42	(2) 42	(16) 475
予 防 給 付 件 数	(0) 14	(0) 14	(0) 14	(0) 14	(0) 14	(0) 14	(0) 14	(1) 14	(1) 14	(1) 14	(1) 15	(1) 16	(5) 171
合 計	51	52	54	53	54	54	53	53	53	54	57	58	646

・介護保険申請数

単位：件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
新 規	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	4
更 新	2	1	1	2	0	1	4	1	2	8	4	4	30
変 更	1	2	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	7
合 計	3	4	1	2	1	2	5	2	4	9	4	4	41

(4) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム浜屋）

コロナ前の「あたり前の日常」を意識しながら、安心して生活していただけるよう、支援に努めました。ご家族様にも協力していただきながら、外出やレクリエーション等、楽しみのある生活の実現に努めました。

・実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
延 べ 合 計	270	279	270	279	279	270	274	236	226	223	224	232	3,062

5. 職 員

職 種	介 護 老 人 福 祉 施 設	短期入所生 活介護事業	通所介護事業	訪問介護事業	居 宅 介 護 支 援 事 業	認知症対応 型共同生活 介 護	合 計
管 理 者	1	0	0	0	1	1	3
事 務 員	4	0	0	0	0	0	4
相 談 員	1	2	1	0	0	0	4
ケアプラン 作 成 者	1	0	0	0	0	1(1)	2
介 護 主 任	1	0	1	0	0	1	3
介 護 職 員	24(4)	9(4)	7(5)	0	0	7(4)	47
機 能 訓 練 指 導 員	1	0	1	0	0	0	2
看 護 職 員	3	1	1(1)	0	0	0	5
管理栄養士	1	0	0	0	0	0	1
調 理 員	委託	委託	委託	0	0	0	委託
ヘルパー	0	0	0	0	0	0	0
介 護 支 援 専 門 員	0	0	0	0	1(1)	0	1
宿 直	2(2)	0	0	0	0	0	2
嘱 託 医	1(1)	0	0	0	0	0	1
産 業 医	1(1)	0	0	0	0	0	1
合 計	42	13	10	0	2	7	74

※（ ）内は非常勤職員の再掲 ※兼務職員は主な職種へ記載

6. 研 修

研修名	職種
コーチング研修	介護職員
褥瘡基本研修	介護職員
接遇マナー研修	事務職員
危険箇所点検から始める施設のリスク管理	介護職員
静岡県高齢者福祉研究大会	介護副主任、介護職員
災害時のBCP 訓練の進め方研修	生活相談員
外国人介護職員 支援・教育担当者会議	介護主任・人材育成室室長

災害フォーラム	看護師
人生の最終段階を支援するために知識と技術、具体的展開を考える	介護主任・介護副主任
認知症介護実践者研修	介護職員

令和 7 年度 事業報告付属明細書

令和 7 年度は該当する項目がないため、
作成しない。

令和 8 年 4 月

社会福祉法人静岡和洋福祉会